

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 谷口 優
幹事 竹内 克豊
広報・会報委員長 池森 由幸

No. 40 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会
第1458回 平成25年 6月 4日 (火)
会員卓話

先週の例会
第1457回 平成25年 5月 28日 (火) 雨
友愛の日

- ◆それでこそロータリー
- ◆四つのテスト
- ◆出席報告

会員	37 (31) 名	出席	23名
出席率	74.19 %		
前々回	5 / 14 (修正出席率)		93.95 %

竹内幹事報告

- 1) 6月のロータリーレートは、1ドル=100円に変更になりましたのでお知らせ致します
- 2) 本日、次年度の秋季家族会につきましのアンケートをお配りしております。宜しくお願い致します

谷口会長挨拶

ウルトラハイビジョン放送について

2014年ブラジルワールドカップのテレビ放送が4K(ウルトラハイビジョン)により開始されます。この4K放送とはどのようなもののでしょうか？

現在のハイビジョンは、2Kと言われ、1920(横)×1080(縦)の走査線で、画素数は2,073,600でテレビ映像が映し出されています。これを2倍の3840×2160の走査線で、画素数はハイビジョンの4倍の8,294,400となります。ウルトラハイビジョンと言われていました。このウルトラハイビジョンを映すためには、それに対応したテレビが必要です。この映像を映し出すテレビは既にソニーや東芝、シャープなどから発売されています。このテレビが日本のテレビ産業の息を吹き返す切り札になる、あるいは韓国のテレビ事業に遅れをとらないためであると言われていました。そのためには、なるべく早期に4K放送が実現される必要があるとして、2年前倒しして2014年から放送が開始されます。

このウルトラビジョンの映像は、どのようなものであるかと言いますと、画像のちらつきや揺らぎがほとんど

ありません。ハイビジョン放送では画面に近づいてみると、光沢のある織物の縞模様や、波の波紋が滲んだり、ちらついたりして見えます。ところがウルトラハイビジョンでは、画面に近づいても字潰れはなく、また織物の縞模様や波の波紋が滲んだりちらついたりしません。実に鮮明に映し出されます。この鮮明さを味わうためには、なるべく画面に近づいて見るのが良いようです。

これだけ鮮明に映ると、この映像が医療に用いられると、遠隔操作による手術等の際画像により手術部位の状態を見るときも、極細な血管や微細な癌化した組織を見落とすこともなくなると思われるからです。画像を用いる検査にもその威力を発揮するものと期待されています。

私は先日栄にあるソニープラザへ行き4Kテレビを見てきました。画面に映し出された新聞の活字、海の波の波紋は揺らぎやちらつきがなく、さすがに映像は鮮明でした。それでは現在売り出されている4Kテレビを購入しても一般家庭では、4Kの放送がないので見られない、宝の持ち腐れではないかと思われるかも知れませんが、このテレビにはハイビジョン放送を4K放送にアップコンバートして、4K映像として映し出す機能がありますので、現状でも十分4K画像を楽しめるのです。現状販売されているテレビは50インチ以上の大画面テレビです。1インチ1万円強の価格です。

この映像よりももっと解像度の高い映像も実験され実用化に近づいています。8Kというスーパーウルトラハイビジョンです。走査線は実に7680×4320というもので、画素数は33,177,600となります。2016年から試験放送が開始され、本放送は2020年の予定とされています。

3分間スピーチ

“身近な所の歴史”

林 正路君



千種税務署のある「振甫」の地名は、江戸時代初期に中国の明朝が倒れた際、日本に亡命してきた遺臣である張振甫(ちょうしんぽ)に由来しています。出自を明らかにしなかったために謎が多い人物ですが、明王室の流れを汲んでいた事は間違いないと

されています。

尾張初代藩主 徳川の知遇を得て移り住んだのが現在の振甫町辺りで、今も東山給水塔の北側に子孫の家と墓所があります。

また、千種税務署から覚王山日泰寺に抜ける道筋に「鉦薬師」という御堂がありますが、これも張振甫を建立したもので、明治42年(1909年)に現在へ移設されたものです。現在、毎月21日の覚王山弘法イチの際に、午前10時から午後2時まで限り公開されるようになりましたが、円空仏があるこの御堂は機会があれば拝観しても価値のある場所です。

千種税務署の北側の旧県職員住宅も、かつては名古屋壘学校ありました。明治34年創立で、全国的に先駆けて出来、昭和12年(1937年)にはヘレンケラーも来校しました。

このように、千種税務署周辺だけでも様々な歴史がある訳ですが、東日本大震災の後に古い地名に様々な意味があった事が明らかになったように、身近な所の歴史を探ってみるのも面白いと思います。



“La Clé de Paradis (天国への鍵)”

小山 雅弘君



5月13日～20日まで家内と二人きりでパリへ行って参りました。今回の旅は、この3年程より藤田嗣治のご遺族がお持ちだった作品を数多く扱わせていただいていることもあって、文献等を読んでかなり研究は致しましたが、実際に藤田の足跡をたどる旅をしたいと思った事と、今年1月13日が結婚40周年ということもあり、半年ほど前より計画を致しました。

個人旅行は初めてでしたので言葉のほうは不安でしたが、パリ大学の博士課程の女性を紹介していただき、お金は少々かかりましたが、全く東京のホテルにステイしているつもりで、藤田に係わった多くの所を見ることができました。

凱旋門の近くのロワイヤルモンソーという5つ星のホテルに宿泊しました。このホテルロワイヤルモンソーは(5つ星ホテルはたいがい古いホテルが多いのですが)2年前、有名な現代建築家のフィリップスタルクが内装を手掛けたホテルで、現代美術で飾られた部屋は夢心地の気分でした。

皆様方、パリにお出かけの際は是非私にご相談下さいホテルもガイドもお世話致します！

最後にひとつ

この、ロワイヤルモンソーのルームキーの裏にはLa Clé de Paradis (天国への鍵) と記されています。私はまだ天国へ行くには早すぎますが、人生余生を楽しみまして最後にこのキーで天国に行く事を願って持って帰ってきました。



“高校授業料無償化について思うこと”

太田 和孝君



昨年の8月4日に入会させて頂きまして、早、10ヶ月を経ました。入会時の経済の状況を思いかえしますと、今日の経済状況は180度転換したと、日々感じております。安倍政権発足以来、アベノミクスの経済政策と歩みを共にしている黒田日銀総裁の力強い発言により

経済の明るいニュースが連日報道され、現在の日本は、やっと回復基調に進み始めたように思えます。メンバーの皆様のお顔も、私の入会時と比べますと笑顔の方が非常に多くなったと感じます。

私には高校1年生の娘がおります。日々大人びる娘の成長に一喜一憂している親馬鹿ではありますが、民主党政権時、2010年から始まりました高校授業料無償化制度の影響かと思われるお話を、耳にしましたのでお話したいと思います。

制度導入後、埼玉県などでは高校進学率が過去最高を記録し、全国的にも私立高校を中退する高校生が過去最小を記録したそうです。家庭の経済的な事情により、教育を諦めていた高校生にとっては、非常に光明であると思います。

一方で、私学学校へ進学を希望する優秀な生徒も、親の経済的な理由により、私学を諦めて公立高校へ入学してしまい、一部の私学では入学者の確保に相当な努力しているとのことです。

ある私立の学校関係者から、昨今、私立中学校への実質入学希望者数は、私立中学校全体の募集定員を下回っているのではないかというお話を聞きました。名古屋で有名な私立の進学中学校で入学希望者が定員割れを起こし、補充の追加合格者を発表したそうです。そのため本来なら第二志望校へ進学するはずだった生徒が第一希望校に繰り上がり、その影響でその関係者の学校も追加合格者を出すことで募集定員を確保したそうです。本来なら、合格に至らない生徒ですら受け入れざるを得ない事態となり、今後の学校運営に直接・間接的に様々な形で影響が出るのではないかと懸念されていました。

自・公政権下で年収制限等、この制度の見直しを検討中ですので、先行きを注視する必要はあるかと思いますが、教育をする側、教育を受ける側双方にとって、より良い改革となることを願ってやみません。

アベノミクスによって、日本経済に明るい兆しが表れ始めた中、その一方で、未だその恩恵を実感できないと感じている地方の人達も数多くいることを忘れずに、これからの政治、経済政策を注意深く観察しながら、地に足をつけて自分が日々出来る事を懸命に取り組んでいきたいと思っています。

※ニコボックスは
次回掲載させて頂きます



次回例会：平成25年6月11日(火) 3階 錦の間

友愛の日 樹木医カシナガ消防団RCC活動報告